広瀬斜子織　再現への道

第１章　狭山遊糸会のスタート　（2014年2月～　　　）

　子ども達に機織り体験をさせたいと思っていた人と広瀬斜子織を織りたいと思っていた人が出会い、そこに、織りを学んでいた人や興味を持っていた人、知人に誘われた人が集い、狭山遊糸会の活動が始まりました。
　機織り体験は、青少年文化体験フェスタを中心に、公民館や児童館での出前講座に広がり、毎年何人もの体験者に楽しんでもらうだけでなく、会の貴重な収入源になってきました。
　活動場所がなかった当初は、広瀬地区にある沼崎正憲氏のご厚意で、清水宗徳にゆかりがある「せきれい亭」をお借りして行っていました。糸巻きや板杼作りの作業をすると共に、広瀬斜子織の織元清水忠男氏や元狭山市博物館長高橋光昭氏等に広瀬斜子織について教えを受けました。
　また地域を巡り、織の道具や広瀬斜子織の情報を尋ねましたが、既に処分してしまっていることが多く、返ってくるのは「20、30年遅いよ。」という言葉でした。

第２章　古い機織り機との出会い

　途方に暮れていた時、高橋光昭氏より博物館に機織り機があるとの話を聞き訪ねました。博物館の収蔵庫に眠るそれは一見して機織り機と分からぬものでありました。柏原地区の農家から寄贈された物で、狭山市に現存する唯一の高機かもしれないと考えました。
　そこで、早速社会教育課に広瀬斜子織の復元（後に再現と改称）のためにこの機の修理と使用許可そして活動場所の確保を要望しました（2015年3月）。2015年11月に社会教育課長、広瀬公民館長、狭山遊糸会での話し合いにより、幸いにも同年12月に広瀬公民館に運び込まれ、修理をすることになりました。
　木工に心得のある方の協力を得て部品を組み立てたり、足りない部品を新しく作ったりして2016年6月から博（ひろ）ちゃん（博物館の機なので博ちゃんと名付ける）で試運転を始めました。

広瀬斜子織　再現への道

第３章　博ちゃんでの織り

　博ちゃんで織るために、まず、当時は、金属綜絖は使われていないと考え糸綜絖を作りました。一尺の織幅の中に400本の糸をかけた糸綜絖を4枚作りました。所沢飛白（ところざわがすり）の再現に携わっている会員の指導で始めましたが、これはまた容易にいきません。上下の糸に絡ませたはずが出来ていなかったり、隣りの糸と重なっていたり等々、経糸を通す段階になって不都合なことが次々と出てきました。その反省を元に使うレース糸の太さを変えたり、色別にしたり、細かい目盛りをつけたりと工夫しました。2023年までに７作（28枚）の糸綜絖を作りました。
　そして、初めは、手持ちの糸を使って、経糸２本、緯糸２本の平織で試しました。結果、博ちゃんで織れることが分かり、作業を進めて行きました。
　機織りというのは織り始めるまでの作業が大半を占めています。糸精練をして、糊付け、木枠に巻き取り、整経。いよいよ仮筬通し、緒巻きに巻き、糸綜絖通し、筬通しをして機にかけ調子をみます。これら一つ一つに技術と修練が必要であるが故に素人の会員には非常に困難な作業でした。そのため広瀬斜子織の再現は遅々として進まず時間がかかったといえます。

広瀬斜子織　再現への道

第４章　広瀬斜子織の糸の解明

広瀬斜子織の再現のために広瀬斜子織に使われている糸の解明をすることにしました。
そこで、広瀬で織られたＫ家の白生地と奥富のＩ家の白生地を東京都産業技術センターに糸の検査を依頼しました。その結果、経糸は90デニール前後の無撚の糸2本、緯糸は無撚の太目の200～230デニールの糸1本の変化平織であることが分かりました。織りの密度は経糸37～39本/㎝、緯糸は20～22本/㎝であることが確認できました。
この結果を基にＫ家の白生地を再現していくことにしました。

第５章　コロナ禍の中　多方面の活動を

2021年～2022年コロナ蔓延のため公民館活動を中断せざるをえなくなりました。そのため会員の行動自粛や体調の変化等が会員数の減少を招いてしまいました。
しかし、その中で織り以外の活動に力を入れることが出来ました。
・狭山遊糸会のホームページ、ブログを立ち上げる。
・狭山遊糸会が発注した紙芝居「広瀬斜子ものがたり」「ユイナちゃんの機織り体験記」をＹｏｕＴｕｂｅにアップする。
・養蚕信仰について調べたことを解説を付けてＹｏｕＴｕｂｅにアップする。
・狭山茶ペーストやお茶染を試す。
・狭山、入間、飯能博物館所蔵の着物等を調査し、「広瀬斜子織写真資料集」を作る。
・広瀬斜子織の一問一答集をまとめる。
これらは会員の特技を生かし、協力し合いながら続けてきた成果であると言えます。

【試験結果】

	試験結果(tex)					
	見掛繊度		より数	密度		組織
	たて糸	よこ糸		たて糸	よこ糸	
黄	90.9d//2 (101.0dtex//2)	191.2d (212.4dtex)	無撚	36.9 本/㎝	20.2 本/㎝	
青	85.8d//2 (95.4 dtex//2)	232.3d (258.1dtex)	無撚	39.3 本/㎝	21.5 本/㎝	

広瀬斜子織　再現への道

第６章　ついに広瀬斜子織の再現研究報告会を

　2021年、2022年、2023年と狭山市市民提案型協働事業に採択されたので活動資金の心配がないばかりではなく、公的な支援を受けることが出来ました。社会教育課が市役所エントランスの展示を毎年計画し、資料準備、展示作業を手伝ってくれました。また、狭山遊糸会のチラシを配ったり再現するためのアドバイスを頂いたりしました。
　広瀬斜子織の糸の解明後、Ｋ家の白生地の再現に集中しました。無撚の同じような太さの糸を購入し織りの準備にかかりました。その中で改めて無撚の糸の扱いに手を焼きました。
　経糸には少し糊をかけましたが糸に触れるとどうしてもほぐれてくっついたり塊りが出来たりします。その糸達を「良い子良い子」となだめながら根気強く進めます。その時に問題になるのは経糸のテンション（張り具合）、緯糸のゆとり、打ち込みの強さです。この3つの条件を変えて試し織りをしてはマイクロスコープで拡大した写真を撮り、現物と比較検証をしました。
　徐々に実物に近い織りができつつあると実感できてきました。そして狭山遊糸会発足から10年目の2024年2月に広瀬公民館に於いて、広瀬斜子織の再現研究報告会を開催する目途が立ちました。
　広瀬斜子織の特徴や技術、これまでの試し織りの経過などを論文にまとめています。
書物に載っている資料や専門家の話を精査し広瀬斜子織の再現技術を文章化していくことは骨の折れる仕事です。この研究論文を狭山の広瀬斜子織の貴重な文献として残してほしいと考えています。

　最後に、広瀬公民館と共催の斜子サロンや文化祭にいらした方が博ちゃんを見ると、皆さんが「懐かしい。母や祖母が織っていた。蚕のにおいを覚えている。」等々の話を聞かせてくれ、「大変だけど頑張ってください。」と応援してくださいました。
　今まで様々な形で狭山遊糸会に係わってくださった全ての方々に、お礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

　今後狭山遊糸会は、どんな活動をしていくか会員で話し合い、第二のスタートを切りたいと考えています。

狭山遊糸会の歩み

2014年（平成26年）

2/ 1　狭山遊糸会発足（会員5名）
4/20　狭山市文化団体連合会の登録会員として加盟
5/31～6/3　機織り体験講座：中央公民館
7/ 5　青少年文化体験フェスタで機織り体験講座（１回目）
　　　：南小学校
8/ 5　狭山市立博物館の収蔵庫で織り機に出合う

博物館収蔵庫の織り機

2015年（平成27年）

1/17　機織り体験講座：中央公民館
2/10　機織り体験講座：せきれい亭
3/17　広瀬斜子織の復元のための要望書を社会教育課に提出
7/ 4　青少年文化体験フェスタで機織り体験講座（２回目）
　　　：新狭山小学校
11/ 6　狭山市社会教育課課長・広瀬公民館館長・狭山遊糸会で織り機の搬入について話し合い
12 / 2　博物館所蔵の織り機が広瀬公民館に搬入され修理を始める

2016年（平成28年）

2/ 4　清水忠男氏を講師に研修会「ななこ屋について」開催：せきれい亭
3/ 4　権田恒夫氏を講師に研修会「清水宗徳について」開催：せきれい亭
6/10　権田恒夫氏を講師に研修会「広瀬神社について」開催：広瀬公民館
7/ 2　青少年文化体験フェスタで機織り体験講座（３回目）：狭山台小学校
7/ 8　織り機の修理をしつつ織り始める
11/ 6　山崎千代子氏を講師に研修会「おしら講と広瀬斜子」開催：広瀬公民館
12/ 2　文化財講演会「斜子織りと広瀬」開催：広瀬公民館　　講師 高橋光昭氏

お元気に語られる
清水忠男氏

機織り歌を教えてくださる
山崎千代子氏

織り機を初披露

狭山遊糸会の歩み

2017年（平成29年）

1/14　小林嘉朗氏を講師に研修会「養蚕について」：広瀬公民館
1/20　広瀬公民館共催で「斜子サロン」
　　月１回を開始：広瀬公民館

2/ 2　小峰孝男氏を講師に研修会「史料からみる斜子織りの一齣」開催：広瀬公民館
6/ 5　群馬県富岡製糸場見学（外部参加者を募って）
7/ 1　青少年文化体験フェスタで機織り体験講座（４回目）：広瀬小学校
8/21　群馬県繊維工業試験場に博物館の白生地検査依頼
10/ 7　機織り体験講座：広瀬公民館
10/20　“駅前発！楽しく学ぶ自分磨き講座”の依頼を受け講演会
　「広瀬斜子織りの復元を目指して」
　：市民交流センター（中央公民館）

2018年（平成30年）

3/ 2　機織り体験講座：水富公民館
5/ 1　東京都産業技術センターに広瀬斜子織の糸の検査依頼
5/12　機織り体験講座：広瀬公民館
7/ 2　井上浩氏を講師に講演会
　「広瀬斜子織について」開催
　：広瀬公民館

7/ 7　青少年文化体験フェスタで機織り体験講座（５回目）：入間川小学校
秋　地区文化祭などに参加：笹井文化祭、広瀬公民館文化祭

2019年（平成31年・令和元年）

4/ 5　狭山遊糸会の看板揮毫を宮野みよ子氏に依頼
5/18　「絹文化研究会」に加入
5/23~27広瀬公民館芸術祭出展
5/25~26笹井文化祭
6/ 8　細芳織物工場（入間市）見学
7/ 6　青少年文化体験フェスタで機織り体験講座（6回目）：柏原小学校
8/ 3　藍を植える（新井氏に畑を提供していただく）
9/ 7　機織り体験講座：広瀬児童館

狭山遊糸会の歩み

2020年（令和2年）

7/ 1　狭山茶ペーストを染料として使う実験結果をまとめた
8/ 7　狭山遊糸会依頼の紙芝居「広瀬斜子ものがたり」（脚本・絵　中村ルミ子）
　　　を作者中村ルミ子氏が演じてYouTubeにアップ
9/ 3　山口民俗資料館（所沢飛白の復元活動）を見学
9/12　権田恒夫氏を講師に学習会「清水宗徳の歴史的背景」を開催　：広瀬公民館
10/26　小林嘉朗氏宅訪問：蚕種などについて説明を受けた

2021年（令和3年）

1/16　イベント「広瀬斜子織の糸」：市民交流センターにて開催予定
　　　＊コロナ感染防止の為中止によりYouTubeにアップ
5/25　市民提案型協働事業採択（補助金22万円）
7/ 3　青少年文化体験フェスタで機織り体験講座（７回目）：南小学校
10/22　狭山市立博物館で広瀬斜子織布地、着物を調査

2022年（令和4年）

1/ 8　紙芝居「ユイナちゃんの機織り体験」完成：
　　　脚本・堀充、矢島裕子　　絵・矢島まつり
2/7～2/10「広瀬斜子織を知って欲しい」開催
　　　：狭山市役所エントランスホール

2/28　渋谷氏宅（かって機織りをしていらした方お2人）を訪問
5/ 2　市民提案型協働事業採択（補助金１８万円）
7/ 2　青少年文化体験フェスタで機織り体験講座
　　　(8回目）：入間川小学校

7/23　機織り体験講座　：広瀬児童館
9/17　　　〃　　　　：広瀬公民館
10/ 1　　　〃　　　　：広瀬公民館
11/ 8　飯能市博物館が所蔵している広瀬斜子織の着物を調査
11/19　機織り体験講座　：入間川小学校
12/ 3　　　〃　　　　：水富公民館
12/19～12/23　「広瀬斜子　織の技術の復元」開催
　　　：狭山市役所エントランスホール

狭山遊糸会の歩み

2023年（令和5年）

1/ 6　コープみらい「地域クラブ」に団体登録を申請
1/13.14　清水忠雄氏のご子息清水昭博氏広瀬公民館来訪
3/13～17 狭山市役所エントランスホール
　　　　パネル展示

5/15　市民提案型協働事業採択（補助金10万円）
6/ 1　青少年文化体験フェスタで機織り体験講座（9回目）：狭山台小学校

7/22　機織り体験講座：広瀬児童館
7/29　　〃　　：広瀬公民館
8/ 5　　〃　　：広瀬公民館
8/20　　〃　　：水富公民館
8/26　　〃　　：広瀬児童館
8/27　　〃　　：広瀬児童館

2024（令和6年）

2/ 3　「広瀬斜子織」再現研究報告会開催

ホームページ

ブログ

YouTube
チャンネル